

報道関係 各位

全国農業協同組合中央会
(J A 全 中)

広報活動優良JAを決定！ 大賞は「JAとぴあ浜松」（静岡県）！！

「令和元年度（第33回）広報活動優良JA選定—JA広報大賞」
審査結果発表ならびに「JA広報トップセミナー（表彰式）」のご案内

令和元年度（第33回）広報活動優良JA選定—JA広報大賞（主催：全国農業協同組合中央会、審査委員長：尾関 謙一郎 メディアと広報研究所 主宰、明治学院大学 元特命教授）につきまして、厳正な審査のもと、下記のとおり受賞JAが決定したことを発表いたします。

2月21日（金）に開催いたしますJA広報トップセミナーにおいて、表彰式を行いますので、この機会に是非ともご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 表彰JA一覧

部門	賞	JA名	県名
総合の部	大賞	JAとぴあ浜松	静岡
	準大賞	JAにいがた南蒲	新潟
	準大賞	JAいしのまき	宮城
組合員向け広報誌の部	優秀賞	JA上伊那	長野
地域密着型広報活動の部	優秀賞	JA十日町	新潟
ウェブメディア活用の部	優秀賞	JAびほく	岡山



2. JA広報トップセミナー（JA広報大賞 表彰式）

- (1) 日時： 令和2年2月21日（金）14時00分～
- (2) 場所： 都市センターホテル 3階「コスモスホールⅡ」
（東京都千代田区平河町2-4-1）

令和元年度JA広報トップセミナー スケジュール（予定）

時 間	内 容
13:30～14:00	受付
14:00～14:50	開会・JA広報大賞表彰式等
14:50～15:10	休憩・記念撮影
15:10～17:15	<p>【「総合の部」大賞受賞JA 実践報告】 講演者：JAとぴあ浜松 代表者</p> <p>【記念講演】 仮題：ラグビーワールドカップ2019 熱狂広報の裏側を聞く～大会組織委員会における広報活動と地域密着型広報・危機管理広報の重要性～ 講演者：ラグビーワールドカップ2019 組織委員会 前 広報コミュニケーション部長 楠本 淳氏</p> <p>【基調講演】 仮題： トップが行うパブリシティ活動 講演者：メディアと広報研究所 主宰 明治学院大学 元特命教授 尾関 謙一郎氏 （JA広報大賞 審査委員長）</p>
17:15	閉会

※ 取材をご希望の方は、恐れ入りますが別紙1をご記入のうえ、2月17日（月）までに本会広報部 広報課宛にFAX（03-3217-5072）でご連絡ください。

3. JA広報大賞の概要及び審査講評

別紙2のとおり

【本件に関するお問い合わせ先】

JA全中 広報部広報課（担当：林・白井）

東京都千代田区大手町1-3-1 電話 03-6665-6011 FAX 03-3217-5072



※ 恐れ入りますが、令和2年2月17日(月)までにご連絡ください。

令和元年度(第33回)広報活動優良JA選定—JA広報大賞
表彰式およびJA広報トップセミナー(令和2年2月21日開催)の
取材について

1. 出席者について

報道機関名	所 属	氏 名

※スチールカメラ (有 ・ 無)

2. その他(ご連絡事項があればご記入ください)

ご連絡先 _____ (_____) _____

以 上



【JA広報大賞の概要】

1. 名称：

「令和元年度（第33回）広報活動優良JA選定—JA広報大賞」

2. 目的：

JA段階における広報活動の取り組みの中から優れた事例を表彰するとともに、その活動事例を広く全国に紹介すること等により、JA広報活動の一層の強化に資する。

3. 主催：

全国農業協同組合中央会

4. 協賛：

全国農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会、農林中央金庫、(株)日本農業新聞、全国厚生農業協同組合連合会、(一社)家の光協会、(株)農協観光

5. 審査委員：

・審査委員長

メディアと広報研究所 主宰

明治学院大学 元特命教授

尾関 謙一郎 氏

・予備審査会

株式会社 Office Me

PR 担当

藤波 ともこ 氏

株式会社 アップウェブ

代表取締役

藤田 尚弓 氏

・第一次審査会

プルミエ・コミュニケーションズ 代表

瀬藤 由紀子 氏

協賛団体広報担当部長

(特別審査委員)

株式会社 ワロップ放送局 代表取締役社長

頃末 敬 氏

株式会社 渡辺広報事務所 代表取締役

渡辺 秀人 氏

株式会社 Office Me

代表取締役

三井 智子 氏

・第二次審査会

協賛団体広報担当役員



大賞：JAとぴあ浜松（静岡県）

- 広報事業を広告換算で評価している。広報課に専任5人と体制が充実している。計画から振り返りまでがしっかりなされているのが印象的。また制作媒体の対象と意義をしっかりと考えて作り込まれている。
- パブリシティに関しては、年間200本を超えるリリースを打ち、担当者ごとの掲載量なども定量的に測定。うまくモチベーションにつなげている。
- トップとマスコミとの関係を構築している。トップが広報経験者でもあり、広報のウェイトがとても大きい。
- 広報誌その他の媒体は、デザインと写真のクオリティが非常に高い。デザイン性が優れている。
- 全体に自己改革の取り組みについて、しっかり伝わる広報体制を取っている。

準大賞：JAにいがた南蒲（新潟県）

- 広報戦略室で専任が5人と体制が充実している。非常にきめ細かく活発な広報活動をされているのがよく分かる。イベントでトップが教育現場に行くことがよかった。
- プレスリリースも多数発信している。キャラクターの使い方やイベントの組み立て方も上手く、記事化につながっている。
- 広報誌とコミュニティ誌を合体して経費節減をはかるなど工夫をしている。昨今の情報発信のウェブ化の流れも捉え、減ページとのことだが、魅力が損なわれることなく、読みやすいものとなった。
- 動画も制作。ウェブメディアは非常に幅広く対応されている。HPのトップページ最上段の画像はインパクト大。
- 全体的に、バランスのとれた優れた内容だった。

準大賞：JAいしのまき（宮城県）

- 自己改革の取り組みは各種媒体でしっかり取り上げられており、非常に明快に発信している。
- 非常にシステムチックに情報収集と発信を行われている。リリースも50本と積極的。
- 広報誌では、JAと一緒に自己改革に取り組む担い手を紹介するコーナーを設け、わかりやすく発信している。企画は写真等でインパクトがあり、各生産者の取り組みや思いがよく伝わる。コミュニティ誌もそれぞれの製品の良さが伝わる。
- 外部への発信だけでなく、役職員向けに「JAいしのまき 自己改革推進情報」を2か月に1回発行する等、組織内の理解醸成にも力をいれている。



○HPのトップページはととてもすっきりしたよいデザイン。

《組合員向け広報誌の部》

優秀賞：JA上伊那（長野県）

- 広報誌の特集はしっかりと読ませる所が多い充実した内容だった。地域の特色をよく認識し、それをよりよく発信している。トピックスや企画等では、参加者目線での取材・編集で、好感が持てる。紙面の読みやすさ、表情の柔らかいフレンドリーな写真がイキイキとした「人」を伝えていて、取材～編集のセンスの良さを感じさせる。硬い組織の話題も、視点が組合員目線に置かれていることでスッと入ってくる。
- 誌面の中で写真コンテストを実施したり、4コマ漫画を使ってJAの取り組みを分かりやすく説明したりと工夫している。
- 広報誌を起点としてケーブルテレビ・ラジオ番組にも取り組みを発展させており、総合的に評価が高い。
- 全体として好感の持てる広報誌に仕上がっている。

《地域密着型広報活動の部》

優秀賞：JA十日町（新潟県）

- コミュニティー誌は、ターゲットを絞り込み、母親が興味ある内容、知りたい、お得な内容がよく網羅されている。ページ割りも内容も良い。ターゲットを絞ることで、広報誌やイベントの内容も掘り下げた面白い内容となっている。配布も効率の良さを感じる。自己改革に関しても分かりやすく工夫されている。
- 支店だよりはととてもきれいに仕上がっている。読みたくなる。
- イベントは、小学校とコラボして、授業と広報誌との連動を図るなど、工夫を感じる。メディアアプローチに関しては、地元的一般紙にもきちんとアプローチされている。

《ウェブメディア活用の部》

優秀賞：JAびほく（岡山県）

- JA全体で、HPのデザインやコンテンツの内容、スマホ対応等レベルが上がっている中で、特に「JAびほく」の評価が高かった。
- 情報発信が活発で元気がよい内容、写真もうまい。沢山の取り組みがトップページで興味を引く。魅力も伝わっている。

以上

